

ジョイジョイだより



お子様方が、卒園式、卒業式、修了式を迎えられた事と思います。特に、卒園、卒業の方々はおめでとうございます。私たちもお子様方の節目に立ち会うことができ嬉しいです。

そして、4月からは、新しい歩みが始まりますね。期待と不安でいっぱいだと思います。

キリスト教の暦では、2月末頃から「受難節」（イエス・キリストの十字架を覚える時）を迎えています。そして、今では聞き覚えのある言葉となりましたが、今年、4月9日に「イースター」（イエス・キリストの復活）を迎えることとなります。イースターは十字架で死なれたイエス・キリストが3日後によみがえるという出来事です。イエスの弟子たちは、イエス・キリストが十字架で死んでいなくなった時、不安でいっぱいでした。しかし、神様は、イエス・キリストがよみがえることを通して、弟子たちに希望と安心を与えられました。希望を与えてくれた神様が、皆さんの新しい門出にも希望と安心を与えてくださることを信じて祈っています。

「わたしはよみがえりです。いのちです。」聖書

ージョイジョイー

冬休みは火災に関する避難訓練や、凧作りをし、公園へ飛ばしに行きました。

凧作りを通して、説明を聞く力、ハサミでビニールや竹ひごなどの切りにくい材料を切る力の使い方、タコ糸を結ぶ、セロハンテープを貼るなどの手指の巧緻性の動作を取り入れた活動でした。とても寒い冬休みでしたが、元気に公園で走りながら凧あげを楽しみました。今年度は小学校、中学、高校を卒業される方が10名いらっしゃいます。新しい進路に期待や不安を持ちつつ、自分の課題に向き合いながら次のステップへの準備をそれぞれがんばっています。



ージョイジョイ教材紹介ー

学校での分数は小学2年生から少しずつ学んでいきます。小学4年生以降には帯分数 $3\frac{3}{4}$ や仮分数 $\frac{15}{4}$ 、約分や通分といった難しい分数の計算が始まり、躓きやすくなります。分数の学習では計算問題や約分、通分の前に分数の概念を一から捉え直す必要があります。分数の捉え方は四角や枡を利用する教材もありますが、ピザやケーキなどの丸の形で捉えるとわかりやすいです。また言葉として2等分、3等分と〇等分の意味を知る必要もあります。ジョイジョイでは手作りの分数ゲームを使って遊びながら取り組んでいます。市販ではくもん出版のはじめての分数パズルなどが販売されているようです。生活の中ではカステラ一切れやちくわなどの切りやすい食材から何等分に切るという経験や「宿題 $\frac{1}{2}$ 終わったね」などの声掛けをしていくことを通して、体験的に学んでいくことができます。

ーリトルジョイ運動器具紹介ー

2月に新しい器具を購入しました。(下部写真)一つは鉄棒、そして平均台とバランスストーンです。主に体幹を鍛えるために活用していきます。

～体幹ってなに?～

簡単に言うと「からだの中心」部分です。大人が体幹を鍛えると聞くと、トレーニングをイメージすることが多いと思いますが、子どもは赤ちゃんの時から寝返りやハイハイなどの動きを通して体幹が強くなっていきます。幼児期になると公園で遊んだり、道を歩いたり、さらに体がしっかりしていき、小学生ごろには自然と授業中に姿勢保持が出来るようになります。しかし、昔とは生活様式(洋式トイレ、エスカレーターの普及など)が変わり、最近ではゲームやYouTubeのような遊びが多くなったことで、体幹の弱い子どもが増えているそうです。体幹が弱いと「姿勢が悪い」「運動が苦手」だけでなく、「集中力の低下」「疲れやすい」「怪我が多い」といったことも出てきます。さまざまな活動を楽しむために、体幹を鍛えていきましょう。ネットで検索すると体幹トレーニングがたくさん出てきます!

～体幹チェック～

- 10秒間しゃがむことができる
- 10秒間片足立ちができる(左右とも)



ーリトルジョイー

日本でもクリスマスが一般的な行事になり、最近ではアドベントカレンダーもお店で売られているのを目にするようになりましたね。「アドベント」は日本語で「待降節」と言い、イエス・キリストの誕生(クリスマス)を待ち望む期間のことです。今年度はリトルジョイの集団遊びの中で、アドベントカレンダーを作りました。毎週子どもたちから、その日の窓を開けたことを報告してくれ、お家でもクリスマスを楽しみに過ごしていることを感じました。

今年度もあとわずかになりました。1月後半ごろから、子どもたちから進級、入学の話が聞かれるようになり、年長児は声掛けがなくても自分で考えて準備をしたり、個別課題に意欲的に取り組む姿が見られ、一つ大きくなることへの期待感が伝わってきました。



ージョイジョイクリスマス会ー

12月18日にジョイジョイ親子クリスマス会を行いました。総勢77名(25組の利用者とそのご家族)の方が参加してくださいました。今年は6年生以上の子どもたちとスタッフによる、トーンチャイムとハンドベルの演奏をしました。10月頃から練習を始めました。曜日ごとにメンバーが違うため、全員が揃っての演奏は当日のみでしたが、指揮に合わせて楽しく演奏することができました。

